

千葉大学教職大学院シンポジウム ～令和の日本型学校教育と教職大学院～

千葉大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻

千葉大学教職大学院

千葉大学では、平成28年4月、多くの現職教員を迎え入れ、学校や地域の将来を担うスクールリーダーの育成をめざして教職大学院をスタートさせました。すでに、学部卒業生並びに現職教員の修了生が教育現場に着任し、教職大学院で身に付けた高度な専門的知識を基に即戦力として、またミドルリーダーとして活躍しています。

シンポジウムテーマ

「令和の日本型学校教育と教職大学院」

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して教育改革が進行中であり、そのめざすところは学校教育の質的転換にあります。やはり鍵を握るのは教師であり教員組織の在り方にあります。すぐれた人材の確保と教師の資質向上が教育政策の根幹にあることは、いまに始まったことではありません。

しかし、教師不足の深刻化など、必要な人材を確保することにおいて苦慮するケースが発生しており、さらに深刻化する様相を呈しています。わが国の学校教育の質の維持・向上にあたり、見過ごすことのできない事態が進行中です。

このような、教職をめぐる状況に対して教職大学院はどう向き合っていくか。理論と実践の往還を通して、新たな教育課題や最新の教育改革の動向に対応できる実践力を持った教師の育成を掲げる教職大学院にとって、この今日的テーマをどのように受け止め対処していけばよいのでしょうか。

2020年代の教育改革をめぐり、その意義と課題を明らかにするとともに、教職大学院が果たすべき役割についての意見交換をとおして、千葉大学教職大学院の将来への展望を開くことをめざします。



「令和元年度千葉大学教職大学院シンポジウム」より

開催日時

2021年2月13日（土）13:30～17:00

開催方法

オンライン配信（限定ライブ配信）※

プログラム

1 開会行事（13:30～）
挨拶 小宮山 伴与志 千葉大学大学院教育学研究科長

2 講演（13:40～14:40）
「コロナ禍における千葉県教育委員会の対応について」(仮)
澤川 和宏 千葉県教育委員会教育長

《休憩 14:40～15:00》

3 シンポジウム（15:00～16:50）
〔シンポジスト〕
・片見 悟史（千葉市教育委員会学校教育部教育改革推進課課長）
・星野 充啓（文部科学省初等中等教育局情報・外国語教育課研修生 千葉大学教職大学院修了生）
・片岡 洋子（千葉大学 教授）
・貞廣 斎子（千葉大学 教授）

〔コメンテーター〕

・杉本 祥子（柏市教育委員会児童生徒課指導主事）
・三宅 健次（千葉大学教育学部附属中学校副校長）

〔コーディネーター〕

・天笠 茂（千葉大学 特任教授）

4 閉会行事（～17:00）

その他

※開催方法の詳細については、2月1日以降に千葉大学教育学部Webサイトにてご確認ください。
(<https://www.education.chiba-u.jp>)

対象

教職大学院関係者、学校の教職員、教育行政機関職員、教職を目指す学生・院生、研究者、報道関係者等
※参加費は無料です。事前申し込みをお願いします。

後援

千葉県都市教育長協議会・千葉県町村教育長協議会（申請中）

お問い合わせ先

千葉大学教育学部附属教員養成開発センター
電話：043-290-2696
メール：soudansitu@office.chiba-u.jp

